平成 23 年 10 月 18 日

会 社 名　　株式会社フォンツ・ホールディングス
代表者名　　代表取締役社長　小野間　史敏
（ＪＡＳＤＡＱ　コード：3350）
問合せ先　　ＩＲ/広報担当（氏名）丹藤　昌彦
（050-5808-5551）

「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

当社は、本日発表の平成 23 年８月期決算短信において、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当社グループは、平成 18 年８月期から前連結会計年度まで５期にわたり、継続的に営業損失、経常損失及び当期純損失を計上したことなどから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しておりました。

当社グループはこのような状況を解消すべく、抜本的な事業構造の改革を進め、不採算事業であった連結子会社の譲渡、類似する事業の併合等を実施し、経営資源の効率化並びに第三者割当増資の実施による債務超過の解消で財務基盤の健全化を図ってまいりました。

また業績の改善に伴う営業キャッシュ・フローの継続的なプラスによる成長資金を確保しており、長期、安定的な資金として活用できる体制が整ったと判断しております。

その結果、平成 23 年８月期は、第１四半期会計期間より営業利益を計上し、併せて営業キャッシュ・フローも第１四半期より継続してプラスとなり大幅な改善を図ることができました。

これらの結果、本日発表の「平成 23 年８月期決算短信」に記載のとおり、平成 23 年８月期は営業利益 195 百万円、経常利益 194 百万円、当期純利益 185 百万円を計上することができました。

また、平成 24 年８月期業績予想につきましては、本日別途開示の本年度予算（平成 23 年８月期決算短信に記載しております、平成 24 年８月期通期業績予想参照）を着実に実行し、本年度も営業利益、経常利益、当期純利益並びに営業キャッシュ・フローのプラスが見込めると判断しております。

今回の注記記載解消により、取引先からの評価の見直し等、営業面でも改善効果が十分に見込め、また、当期純利益の黒字化により、営業キャッシュ・フローの改善も見込まれ安定的な資金繰りも見込まれると判断しております。

以上により、平成 20 年８月期決算より平成 23 年８月期第３四半期連結会計期間まで記載しておりました「継続企業の前提に関する注記」を、本日発表の「平成 23 年８月期決算短信」において解消することといたしました。

株主をはじめとするステークホルダーの皆様にはこれまで大変ご心配をお掛け致しましたが、今後も全社をあげてより一層の構造改革や安定した財務体制の構築を推し進めるとともに、更なる業績向上と企業価値の向上に努めてまいる所存でございますので、引き続きご支援賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

以上